

## ▼ベサノイド カプセル [内]

【重要度】★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】トレチノイン (U) Tretinoin 【分類】急性前骨髄球性白血病治療剤 [レチノイド]

【単位】▼10mg/Cap

【常用量】寛解導入療法 1日 60~80mg (45mg/m<sup>2</sup>) /日

【用法】分3

【透析患者への投与方法】腎障害のある患者では禁忌 (1) でビタミンA過剰症が増悪するおそれがあるため投与すべきではない (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】腎障害のある患者では重篤な腎障害を起こすおそれがあるため禁忌 (1)

【特徴】APLの分化誘導療法として、寛解導入療法にもちいられるビタミンAの活性代謝物

【主な副作用・毒性】レチノイン酸症候群, トリグリセリド上昇, 肝障害, 白血球増多, 血栓症, 皮膚炎など

【tmax】2.5~3.5hr (1) 1~2hr (U)

【代謝】生体内で一部異性化されイソトレチノインとなり、それぞれ肝臓で4位が酸化され4-オキシ-トレチノイン及び4-オキシ-イソトレチノインとなるが、これら代謝物は血漿中及び尿中ともわずかにしか認められない。尿中代謝物は、グルクロン酸抱合体として4-オキシ-トレチノイングルクロニド及び4-オキシ-イソトレチノイングルクロニドが、また、非抱合体としてわずかに4-オキシ-イソトレチノインが認められる (1) CYPで代謝され、自己代謝酵素を誘導する可能性がある (U)

【排泄】尿中回収率63% (投与後1週間) (1) 糞便中回収率31% (投与後1週間) (1)

【t1/2】1.22~1.55hr (1) 0.5~2hr (U)

【蛋白結合率】95%以上でアルブミンと結合 (U)

【Vd】大きいと思われる (5)

【MW】300.44

【透析性】透析されない (5)

【OW】油相に分配 (1)

【警告】催奇形性がある。レチノイン酸症候群等の副作用が起こることがある。

【更新日】20240815

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。